

第9回学校適正規模・適正配置審議会 会議録

- 1 期 日 令和5年11月30日(木)午後6時30分から午後7時55分  
 2 場 所 庄内町役場 B棟 会議室1  
 3 出席者 齋藤透、門脇伸、門脇良至、丸屋恭子、齋藤正典、佐藤義徳、佐藤一典、  
 佐藤彰、佐藤一、富樫豊一、菅原弘昭、菅野由香里  
 4 内 容

1 開会	18:30
2 会長挨拶	菅原会長あいさつ
3 教育長挨拶	佐藤教育長あいさつ
4 前回の協議内容について	議事録の確認
5 報告	事務局から「10月実施のアンケート調査結果について[資料2]」の説明
事務局	何か不明な点などございませんか。 只今の報告を踏まえたうえで、協議していただければと思います。
事務局	6 協議に移ります。座長を菅原会長にお願いします。
会長	それでは、前回決定に至らなかった小学校の方針を決めさせていただきたいと思っておりますので、10月のアンケート結果も参考にしながら、皆さまからご意見をいただければと思います。いかがでしょうか。
教育課長	補足で説明します。本日配布しました答申(案)の11ページ、12ページは今回10月に行いましたアンケートの概要になります。どのような視点から選択肢を選んだかという逆の視点で表を作成しました。それぞれの理由からどのパターンを選んだという表になっています。この辺も参考にしながらご意見をいただければと思います。
会長	通学の距離、時間ということを重視しているということがはっきりと読み取れるのかなと思ったところです。答申の内容として通学の時間の目安として30分と示した但其の部分重要視していて、これは避けて通れない部分なのかなと感じたところですが、いかがでしょうか。 この辺りが、中学生との発達段階の違いがあるように思いました。 第四学区と立川地域を見ていくと、第四学区は余目一小から三小と一緒にという割合が非常に多かったのかなと思いました。パターンでいうとパターン2とパターン4がそれにあたりますが、それを合わせると62.5%となるようですし、かたや立川地域を見ていくとパターン3ということで四小との統合ということ踏まえながらも、現校舎を残して、そこで学びをという思いが非常に強いのではないかと思います。いかがでしょうか。
A	私としては、パターン4がいいと思います。段階的にということ考えた場合に、結局は児童数が少なくなって一緒になることを考えれば、最初から1校の方が基本的にいいと思います。ただ、立川にも余目にも歴史的な背景があると

	<p>思うので、簡単ではないとは思いますが、苦渋の決断ということで最初から1校にした方がいいと思っています。自分の周りの保護者とこの話をしたところ、人数が少なくなって結局1校になることが目に見えているのであれば、最初から1校にして、それに対して問題点があるのであれば、精査していった方がいいのではという意見を持っている人もいました。</p>
会長	<p>立川地域のパターン3とパターン4の地区別の結果をみると明らかに違いがはっきりしているのかなと読み取ったんですけども。立谷沢地区と清川、狩川地区の考え方が全く逆というか、この辺も気になるどころと見ましたが、いかがでしょうか。</p>
B	<p>アンケートの結果を見たのですが、通学時間について心配しているというのが印象にありました。あと、立川地域としては、地域に学校を残してもらいたいということが印象に残っています。</p>
会長	<p>アンケート結果から、通学の距離、時間、それから、立川地域の住民としての声として、学校を残してほしいということも読み取れるのではないかとのご意見だったと思います。</p>
C	<p>配布された資料を見て、保護者のアンケートにしても、この会議の意見にしても、なかなか方向性がはっきりとは定まらないと感じています。アンケートの意見の中に「統合は望まない。なぜ、既存の余目中学校を使うのか」という意見があったようですが、この件については、私もなぜ余目中学校を使うのかと疑問に思っていました。中学校を一つとした場合、余目中学校を改修して使うということは、事務局からの一つの例として示されたが、既定路線のように感じました。小学校も中学校も、10年後、20年後、30年後を考えた場合、それぞれ1校がいいと思いますが、第四学区にしても立川地域にしても、それぞれの地域のエゴが出ているのかとアンケート結果から読み取ります。庄内町が立川町と余目町が合併してから、学区編成が2回行われることになるが、果たして、立川地域から学校施設がなくなっていいのかという思いがあります。これに対する不満が立川地域には当然あると思います。そうしたことを考えた場合、中学校は、統合して既存の余目中学校を改修して使うということで進んでいるわけですが、小学校をもし一つにするとしたら、中間地点に新しい小学校を建てる。あるいは、中学校は、既存の余目中学校だけが候補でなくて、中間地点に建てるというような考えで、お互いの通学時間など調整をとれるような方向で進めないと今回の統合計画そのものがうまくいかないような気がします。この場で、すべてを決めるわけではないわけですけども、ある程度、中学校も小学校も通うにあたっては平等であるべきだという考え方があっていいと思います。既存の余目中学校を改修して使うと経費がかからないということもわかりますが、あまりにも立川地域からみれば、「なんで余目中学校なんだ」という不満なんかもあると思います。ここで答申を出さなければいけないわけですけども、決まらないことまで無理して決めることはないのではとも思って</p>

	います。今日で審議会は最終だということですが、みんながある程度納得するような方向性を示さないといけないのかと思います。
会長	明確なはっきりとした方向性がどこまで出せるのかというご意見だったと思います。この諮問に対する答申の在り方ということになってくると思いますが、この辺、事務局としてはいかがですか。
教育課長	本日、配布しました答申（案）の12ページ、13ページを開いてください。この部分が答申の核になります。三つについてまとめていますが、一つは一学年あたりの適正な学級数、二つ目が適正な通学距離、時間、三つ目が適正配置を実現するための学校の整備について、この辺までが答申の考え方でいいと思いますが、ただし、学校整備について、1校ないし2校という答申をいただいた場合、どのような考えで1校か2校なのかというところまでないと、答申をもらった事務局側でも今後の説明もあるので、基本方針として載せる部分としてはこの文言でいいと思いますが、答えを出した裏にある考え方までは、是非、お願いしたいと思っています。
会長	そうすると、1校ないし2校が望ましいという具体的な中身ですね。特に2校とした場合ということになってくるかと思えます。
D	立川地域も第四学区についても、私も同じような意見を持っていました。学校施設がすべて余目寄りになってしまうと不満を感じる人も出てくると思います。この適正規模・適正配置の関係で地域意見交換会が立川は狩川を会場に開かれたが、清川、立谷沢の人にしてみれば、学校がなくなったことによって自分たちの地域では開催されなかったのと同じで、全部町場中心になっていくというような意見も聞いたことがあります。将来的なことはわからないが、結果的に町場中心の環境になること危惧しています。小学校が町の中心地に建つことにこしたことはないが、この審議会の中で将来のことを十分考えるとどうなのかと思っているところです。
会長	小学校の整備については、学校の場所の問題がキーポイントだろうというご意見だったと思います。ただ、この審議会として学校の位置までは方針として出さない方向で考えていますので、基本的な方針という形で出させてもらおうと思っています。場所の問題が非常に大きいだろうということだと思っています。
E	最初は四小と立小が一緒になってと思っていたが、どうもそれぞれの思いが違うというのがわかりました。私も立川地域から学校施設を全く無くすというのはどうかと思いますが、立川町と余目町が合併して庄内町になったのだから、あまりこだわらないで、20年後、30年後のことを見据えれば、小学校は一つでいいのではないかと人もいます。私としては、立川に小学校を残して、いずれ、時期が来た時に一つになってもいいのではないかと思いますし、それは、20年後よりも前になる可能性もあるでしょうし、段階的に進めた方がいいのではないかと人もいますし、考え方がまとまらないところです。

会長	<p>第四学区と立川地域の意見交換会の際に、副会長から参加してもらいました。今のご意見の中で、特に立川地域の皆さんの思いが表れていたのかなと感じました。今のご意見は、一小から四小までを一つ、立小をこれまで通り残してということだと思いますが、ただ、統合にあたっては場所が当然、問題になるだろうというご意見だったと思います。</p> <p>20年、30年を待たずに、その都度、見直しを図りながら方向性を定めていく必要があるのではないかとというふうに受け止めたところです。今、この段階ではっきり方向性を決めるのは難しいというご意見だったと思います。</p>
F	<p>私は、児童数が減っていくということと、アンケートの結果の数値から1校なんだろうと思っています。ただ、学校を建てる位置は切り離せないと思います。この審議会が始まったときは、細くて長い庄内町の地理的要因の中で、何がベストか、何がベターかという話もあったと思いますので、仮に1校にするならば、立川、四小付近の中間地点でという進め方がいいのかなと思いました。</p>
会長	<p>20～30年後と言われたときには、児童数が減っているだろう。今年度の出生の予定は約80名程度、そうすると480人規模の小学校になって、クラスでいうと3学級、およそですがそういう規模の小学校になるかと思います。ただし、現状も考えるとどうなんだろうというところもあります。そういうところが立川地域の皆さんの思いがあるように思えました。</p>
G	<p>小学校の通学時間の30分程度というのは外せないと思います。20～30年後を見据えてという言葉がありますが、20～30年後は誰もわからないわけです。毎年50名ずつ減っていったとしても1校は大変だと思います。将来1校になるからといって今から一つにするという話も出ていましたが、400、500、600名の児童が集まる学校というのは、今の時代、非常に大変なんです。昔と今は全然違うんです。子ども自身の特性も違ってくるので、まとめて一つとして大きな学校というのは危険だと思います。今後、実際統合する段階でどのくらい児童が減っているかわからないところですけども。1校ないし2校というならば、私は2校がいいと思います。皆さんわかるとおり、一小、二小、三小と四小と立小は全然違いますよね。一小、二小、三小は何も変わらないと思っているわけです。三小は先日、60周年を迎えました。60年前の余目で何をしたかという、栄、余目、八栄里、常万の小学校を合わせて、新しく線引きをしたわけです。どうせ2校にするのであれば、旧の学区にこだわらず新しく線引きをする。100人全員の賛成意見をまとめるというのは無理なのだから、既存の学区にこだわらず、新たに線引きをして2校とするのが妥当だと思います。</p>
会長	<p>あまり大きすぎる学校は大変だということでした。確かに今の子どもたちの状況を考えると危惧される部分なのかなと思いました。新しい枠組みということになると、学区の再編ということも出てくると思います。また、2つの新しい学校を建てるということも非常に難しい問題が出てくるだろうなと思いました。</p>

教育課長	<p>審議の途中ですが、委員の方からいろいろな意見が出ておりますが、私の方からも一つ、昨日、自治会長会という会議がありました。庄内町全体の自治会の会長が集まる会議だったんですけど、その中で研修のテーマということで、学校適正規模・適正配置に関する現在の進捗状況について説明してほしいということで依頼がありましたので説明しました。審議会で話し合われている内容について、あくまでも中間案ですけども、今のところこのような形で話し合われているということで話をしてきたわけですけども、話が終わった後に立川地域の自治会長の方から地域を代表してということで話がありました。そのことについて、こういう話があったということを審議会に伝えるということにしていたので、<b>ここで紹介させていただきます。</b></p> <p>中学校が一つになることはやむを得ないだろう。というご意見でした。立川地域は南北に長い。今年統合した遊佐小学校は最長で 30 分程度の通学時間である。それを超えて通学するということはどうだろうか。立川地域への配慮をお願いしたい。立川地域から学校施設がなくなると地域が弱くなってしまう。立川地域に是非、学校を残してもらいたい。というご意見でした。こういう意見があったことを紹介させていただきます。</p>
会長	自治会長会で説明する機会があって、そういったご意見をいただいたところだということだったと思います。
H	<p>小学校は1校が望ましいと思っているのですが、自分なりに庄内町の子どもたちはどんな大人になってほしいのかと考えたときに、町の教育委員会より教育振興基本計画が出されています。その中では、「よりよい生き方や志を求め自立し地域社会を支える人づくり」、これを具体化するためにということで「月山、立谷沢川、最上川、庄内平野の風土に寄り添い、より良い生き方や志を求め平和な世の中を紡ぎあう人」ということです。これを見たときに、平等に月山の自然、立谷沢川の水の清らかさ、これは余目の子どもたちにも感じてほしいところですし、庄内平野の風土、北楯大堰から水を引いて、吉田堰があつての庄内平野があるんだということを私が現職のときに子どもたちと学んだんですけども、そのことも考えると、やはり立川から学校を無くすということは、この基本計画を考えていったときに残す方法はないだろうかと思いました。仮に通学時間の 30 分というのは、できれば1年生から6年生まで満たしていれば、一番の理想なのですが、通学時間が長いと心配なのは低学年の子どもたちじゃないかなと思います。それを考えると立川に小学校を残して2校として、状況を見て、余目にある学校を本校、立川にある学校を分校化して、教育振興基本計画に沿って、大切に大切に子どもたちを育てていくということも考えられるのではないかなと思いました。</p>
会長	教育振興基本計画の中身も踏まえると、立川に小学校は残すべきだという、現段階ではそうなのかなというご意見だったと思います。将来的にはどうなるかということもあるけれども、その場合にしても通学時間、通学の距離は配慮す

	<p>べき第一番の点だろうというふうに捉えたところです。</p> <p>いろいろなご意見が出されていますが、2校がいいのではないかという意見が強いのではと感じたところですが、いかがでしょうか。まずは、その方向でということによろしいでしょうか。その場合に、まずは、一小から四小までを一つというような形で、現立川小学校はそのまま残すというような考え方、ただし、いずれ子どもたちの人数が減って一つになるといった場合の校舎の位置を見据えて考えてもらうことが欠かせないのかなというふうに受け止めたところです。どうしても、子どもたちの発達段階から通学の距離と各地域社会の活性化、維持、そういったものを両方考えていくというのがベストなのかなと受け止めたところです。そのような方向でまとめさせていただいてよろしいでしょうか。</p>
A	<p>先ほどの話した内容に補足させてください。先ほど、自分はパターン4で5つの小学校が一つに統合することが望ましいという話をしましたが、通学時間を30分程度として、それを大前提とするのであれば、場所を決める際に、人数の配置で考えるのか、地形的に中心付近ということを考えるのかはわかりませんが、新しい校舎はいずれにしる建てないといけないと思いますが、30分ということ前提で考えると2校も仕方ないのかなと思います。</p> <p>自分の経験からも体調が悪くなる子もいるかと思うので、小学生はやはり30分程度が上限かなと思いました。</p>
会長	<p>今一度まとめさせていただきます。まず、2校が望ましいという表現になるのかと思います。2校の内容になりますが、私としては学校として望まれる適正な規模は、当然ありますし、公的に示されている部分もあります。ただ、児童の発達段階まで考えた学校までの距離だとか通学時間の適正化が欠かせないということ。もう一点は各地域社会の活性化を維持するという意味からも考えないといけないだろう。そういったことを踏まえて、現余目一小から四小までを1校、立川小学校を1校とすることが望ましい。ポイントとしては、次の組織での議論になると思うのですが、一小から四小まで統合して1校とした場合の学校の建設整備する場所についてがポイントになってくると思います。今後、予測できない社会の状況があると思いますが、その都度変化を的確に捉えて議論を重ねていってもらいたいというような文言をつけたらどうかと考えたところです。いかがでしょうか。もし、よろしければこのように答申をまとめていきたいと思います。</p>
教育課長	<p>一つ確認させてください。答申(案)の13ページにの枠の中、「20～30年後を見据えた場合に1校ないし2校が望ましい」というところですが、曖昧にしないで「2校が望ましい」ということによろしいでしょうか。皆さんの話の中でも、学校規模が小さくなったり、予期しない社会変化があったときは町内一つの学校もやむを得ないという話がありましたので、その辺も踏まえて2校だけでも将来的には1校もあり得るというような形のまとめ方によろしいでしょ</p>

	うか。
会長	<p>そのようなことで、よろしいですね。</p> <p>もう少し文言を精査して、まとめさせていただきたいと思います。</p> <p>それでは、小学校の部分の基本方針としては今、承認いただいた方向性でまとめさせていただきます。</p> <p>何か付帯事項ということで、皆さまから出していただければと思います。</p>
E	<p>学区以外の人を入れる特認校というものがあるらしいのですが、庄内町も特色ある学校をつくって、他からも入れる学校にした方がいいのではないかと思っただころです。例えば、英語に特化した学校づくりはどうかと思っています。</p> <p>今後、社会に出ていく際は、英語は必要になってくると思います。</p>
会長	<p>特色ある学校づくりとよく言われていますが、各学校でもいろいろな取り組みをしてもらっているのが現状かと思います。その中で今、英語教育に視点をあてた学校づくりという部分の話でしたが、将来、何か特色をもった小中学校というものが必要になって来るだろうというご意見だったと思います。</p> <p>他に、こんな学校をとということがあればお願いします。</p>
教育課長	<p>先ほどの意見の中で、新しい小学校をつくる場合は、スタートは2校で進みますが、将来的に1校になることも予想されるので、その辺を見据えて学校の位置を決めるというような話もありましたので、その辺も付帯意見ということで内容を盛り込ませてもらってよろしいですか。</p>
会長	<p>通学時間を30分程度と目安を示してしるわけなので、是非、入れてください。</p> <p>皆さん、よろしいですね。</p>
G	<p>付帯事項に入れなくていいのですが、今の条件が見合うところは、おそらく四小より立川寄りの場所になると思います。教育委員会は、余目地域の人から「何でそこなのか」という反対の意見が出たとき、答申に載せる以上は、強い覚悟をもって臨んでもらいたいです。</p>
E	<p>余目地域の人たちは、余目中学校からちょっと離れた辺りをイメージしていると思います。四小より立川寄りということは、一小、二小、三小の人は誰も考えていないと思います。</p>
教育課長	<p>あくまでも審議会での意見ということで、いただいた意見をまとめる答申書です。教育委員会の決定事項ではないと思いますので、いろいろな意見ももらって、それを載せるということは構わないと思っています。その辺を配慮したうえで、将来考えてほしいということでいろいろな意見を出してもらっているのかなと思います。</p>
会長	<p>あくまでも通学時間に配慮したとかの文言になっていくのかなと思います。具体的に何kmなどにはならないと思います。他にありませんか。</p> <p>なければ、事務局から今後の流れについて説明をお願いします。</p>

教育課長	<p>今後の流れにつきましては、今日で大筋の考え方をまとめてもらいましたので会長、副会長で清書をさせていただきます。12月上旬くらいまでまとめたいと思います。まとめたものを答申という形で教育委員会に提出してもらうこととなります。12月10日前後に答申をもらって、その後にパブリックコメントという形でこの答申書に対して町民の方から意見をいただきたいと思っています。その期間を12月中旬から1月中旬の約1カ月ほど設けたいと思っています。さまざまな意見をいただき、それに対して回答するなどして、1月の教育委員会定例会で協議して教育委員会としての考え方を整理したいと思います。その後、2月22日に町長と教育委員の話し合いの場を予定しています。そこで、町としての合意を図りたいと思っています。それが町としての正式な方針の決定になるかと思っています。今回の件はどちらかというと基本方針的なものになるので、来年度以降になれば、それをより具体化するため実施計画的なものをつくるが必要になってきます。来年度以降は（仮称）学校整備検討委員会というようなものをつくって、どこの場所に校舎を建てていくのか、統合はいつを目指していくのか、どのような特色のある学校をつくっていくのか。その辺の話を検討委員会で話し合っていきたいと思っています。検討委員会の委員についてはまだ決まっていますが、引き続きお願いする場所があるかと思っていますので、その節は是非、ご協力をお願いできればと思います。大きな流れとしてはこのような感じになります。</p>
会長	<p>2月の総合教育会議の席上で本決まりというような流れのようです。その後で（仮称）学校整備検討委員会の中で具体的なことを決めていくというような話でした。よろしいでしょうか。まだ、スタートに立ったばかりということになるんだろうなと思います。これからが本番になるかと思っていますので、皆さまからも引き続きいろいろな面で力添えをいただければありがたいと思ったところです。もし、他になければ審議の方を閉じたいと思いますがいかがでしょうか。</p>
G	<p>学校整備のスケジュールについて、早くてどのくらいになりそうですか。</p>
教育課長	<p>地域意見交換会の際に示したんですけども、小学校を例に挙げると用地選定に2年くらいかかるとしています。用地選定が決まったら、3年目に基本設計、造成をして、4年目に実施設計をし、建設整備には3年くらいかかるとしています。最近、職人がいないということで工事が非常に長引くという傾向にあるようです。なので、用地選定2年、基本設計1年、実施設計1年、工事3年、ここまでで、小学校は7年かかるとしています。同じく、中学校については、基本設計1年、実施設計1年、工事4年の6年かかるのかなと試算しています。小学校と中学校は財政的に同時期に工事はできないので、工事の時期をずらしながら考えると丸9年くらいかかるのかなと思っています。スタートの時期ははっきりしませんけども、仮に来年度を1年目とすれば、令和13年度こ</p>

	<p>ろまでには、中学校も小学校もできるのかなと思っています。土地の件はまだ何も決まっていないので、用地交渉が長引けばこの通りにはいかないことも想定されますが、あくまでも机上での試算をするとこのくらいなのではと思っています。</p>
G	<p>9年ということですが、校舎施設の安全性の面から早急に進めなければいけないということもあったので、適切な対応をお願いします。</p>
教育課長	<p>新しい校舎をつくるからといって、既存の校舎に手を付けないということはないようにしたいと思っています。危険であれば工事をして、子どもたちの安全を守ることはしないといけないと思っています。</p>
会長	<p>他にありませんか。 それでは、事務局に進行をお返しします。</p>
7 その他	なし
8 閉会 教育課長	<p>皆さまお疲れ様でした。令和3年12月からということで、約2年間にわたりまして慎重審議、大変ありがとうございました。今回、最終答申の方向性までまとめていただきました。基本方針以上の内容のこと、学校の組み合わせなど、大変な思いをして方向性をまとめていただいたことに、まずはお礼を申し上げます。学校として望まれる規模はあるものの、地域性ですとか、児童の発達段階から考えた通学時間などさまざまな面からベターな選択をしていただいたのかなと思っています。今後については、先ほど話をしたとおりの日程を経まして、来年度には実施計画づくりに入りたいと思っています。来年度の組織については、こちらも難しい内容になるかと思いますが、これまでの経過をわかっている方からも一部入っていただければ助かるのかなと思っています。その節は是非、ご協力をお願いします。</p> <p>それでは、これをもちまして第9回学校適正規模・適正配置審議会を終了します。皆さん、どうもありがとうございました。</p>
閉会	19:55